

# 住民主体のまちづくり

No.9 2014.8

編集発行：車尾地域づくりモデル検討会

## ■第1回「環境美化」をテーマの懇談会

検討委員3名と車尾地区環境をよくする会（以下「よくする会」という）11名とで話し合いました。主な意見は、

- ・よくする会の組織も今年度から変わったので、地域の課題を考えていきたい。
- ・あれこれするより、既存の取り組みに参加する。
- ・現在行われている6・7区合同の米川清掃にこのメンバーで参加してみる。
- ・よくする会の組織に、担当検討委員を顧問で入る。

・・・などです。

## ■第1回「高齢者支援」をテーマの懇談

検討委員の趣旨説明の後、社会福祉協議会1名、在宅福祉員2名、民生委員1名、包括支援センター2名、検討委員3名で自由討議を行いました。主な意見は、

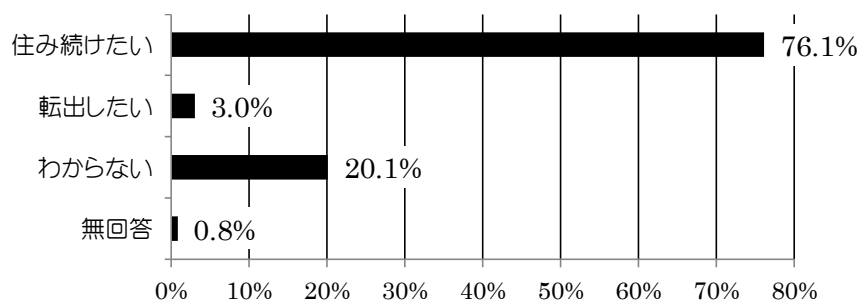
- ・給食サービス対象者が減っている。
- ・日中に勤めで、家に人が居なく、向う三軒両隣の付き合いがなくなった。
- ・支え合いのため社会福祉協議会ができたのでは。
- ・家族の人数が減少し、一人暮らしが増えてきた。
- ・高齢者は、社会参加がしにくくなり、「ひきこもり」になる。
- ・施設に入るまでは、共生していくべきだ。
- ・傾聴する人を増やして、しっかり高齢者から話を聴く。
- ・高齢者用の農地を提供しては。
- ・高齢者支援を「自分の人生の一部」として取り組む。
- ・支援の内容項目を列挙し、募集する。

・・・などです。

## ■住民アンケートの集計より（平成25年8月下旬に実施）

869世帯から回答をいただき、回答率は36.2パーセントでした。引き続き結果を載せていますので、参考にしてください。

あなたは、この車尾地区に今後も住み続けたいと思いますか。



自分たちのまちは 自分たちの力で